

**保管用**

**Tajima**

ご使用前に必ずお読みください。

# グラインダー

**PT-G100A**

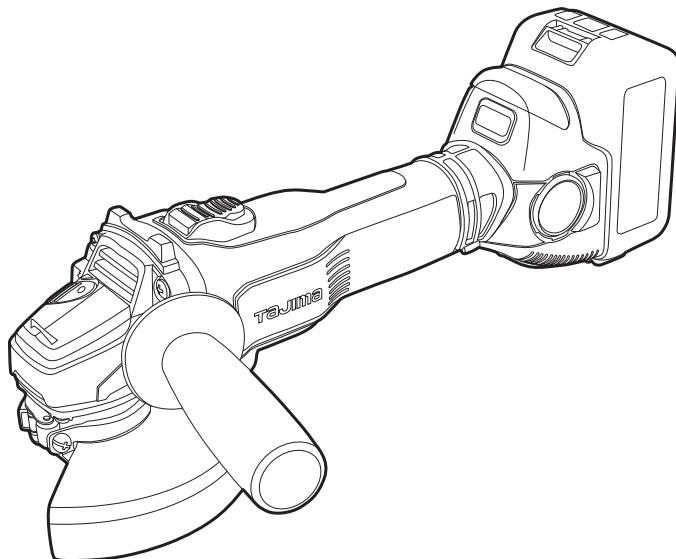
グラインダー G100A

**PT-G125A**

グラインダー G125A

# 取扱説明書

2版



**本製品は業務用です。**

このたびは本製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前に必ず、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能をご理解の上で、適切な取扱いと保守をしていただくようお願い致します。この取扱説明書は大切に保管してください。

# もくじ

●安全上のご注意	2
●充電工具共通の安全上のご注意	2
●グラインダーの安全上のご注意	6
●主要機能	9
●各部の名称および標準付属品	10
●別売品のご紹介	11
●ご使用前の準備	12
・砥石カバーの取付け・取外し方	12
・補助ハンドルの取付け方	13
・シャフトロックの操作	13
・オフセット研削砥石の取付け・取外し方	14
●使い方	15
・充電池の取付け・取外し方	15
・充電池保護機能	15
・充電池について	16
・充電池の充電方法	16
・USB充電端子の使い方	17
・充電器の冷却について	17
・充電器の保管について	17
・充電池を長持ちさせるには	17
・充電池の寿命	17
・充電池の回収について	17
・スイッチの操作	18
・研削方法	18
・切断砥石の取付け・取外し方	19
・切断方法	20
・電池残容量表示パネル	20
●保守・点検について	21
・防じんカバーの清掃	21
・本製品のお手入れ	21
・ご修理の際は	21

# 安全上のご注意

## 注意事項の「△危険」「△警告」「△注意」について

ご使用上の注意事項は「△危険」「△警告」「△注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

<b>危険</b>	死亡または重傷を負う可能性が高い内容です。
<b>警告</b>	死亡や傷害を負う可能性がある内容です。
<b>注意</b>	軽傷や財産の損害が発生する可能性がある内容です。

## 充電工具共通の安全上のご注意

### **危険**

- ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」全てをよくお読みの上、ご理解いただき、正しくお使いください。
- 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に必ず保管してください。
- ほかの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。
- 「安全上のご注意」で示す「充電工具」は、充電式（コードレス）電動工具を示します。
- 専用充電池以外使わないでください。
  - ・改造した充電池（分解してセルなどの内臓部品を交換した充電池を含む）を使用しないでください。
  - ・工具本体の性能や安全性なども損なう恐れがあり、火災やけが、故障、破裂などの原因になります。
- 充電池は、火への投入、加熱をしないでください。
  - ・発火、破裂の恐れがあります。
- 充電池に釘を刺したり、衝撃を与えるたりしないでください。
  - ・落としたり、何らかの損傷を受けた充電池は使用しないでください。
  - ・発熱、発火、破裂の恐れがあります。
- 充電池の端子部を金属などで接触させないでください。
  - ・充電池を金属と一緒に保管しないでください。
  - ・充電工具または充電器から外した後は、電池端子カバーを必ず取付けてください。
  - ・充電池の端子間にショートさせないでください。
  - ・短絡して発熱、発火、破裂の恐れがあります。
- 充電池を火のそばや炎天下など高温の場所で充電、使用、保管しないでください。
  - ・充電池を周囲温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。充電池の劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
- 充電池は専用充電器以外では充電しないでください。
  - ・火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
- 付属の電源コードは他の機器には使用しないでください。

# 警告

## 1. 作業環境

- ①作業場は整理整頓してください。また、十分に明るくしてください。
  - ・ちらかった暗い作業場は、事故の原因となります。
- ②可燃性のガス・液体・粉じんのある所で使用しないでください。
  - ・充電工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
- ③使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
  - ・注意が疎かになり、操作に集中できなくなる可能性があります。
  - ・作業者以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。
- ④作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。
  - ・埋設物があると工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
- ⑤高所作業のときは下に人がいない事をよく確かめてください。
  - ・充電工具や先端工具、材料などを落としたときなど、事故の原因になります。

## 2. 電気に関する安全事項

- ①電源コンセントは充電器の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。接地付きプラグは確実にアースをしてください。
- ②感電の恐れがありますので、金属製パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などのアースまたはアースされたものと、身体を接触させないようにしてください。
- ③充電工具は雨中や、湿ったまたは濡れた場所で使用したり充電しないでください。
  - ・感電や充電池が短絡する恐れがあります。
- ④充電器の電源コードは乱暴に取扱わないでください。
  - ・電源コードを持って充電器を運んだり、引っ張ったりしないでください。
  - ・また、プラグを抜く際にはコード部を引っ張らないでください。
  - ・電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。
  - ・電源コードが損傷したり、身体に絡まって感電する恐れがあります。
- ⑤屋外で延長コードを使用する場合は、屋外の使用に適した延長コードを使用してください。
- ⑥USB の端子間をショートさせないでください。
  - ・針金などの金属物が USB 充電端子部に入るとショートして発煙、発火の恐れがあります。

## 3. 作業者に関する安全事項

- ①油断しないで十分注意して作業を行ってください。
  - ・充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
  - ・疲れていたりアルコールまたは医薬品を飲んでいる場合は、充電工具を使用しないでください。
  - ・一瞬の不注意が深刻な傷害をもたらすことがあります。
  - ・屋外での作業の場合は、夜間の使用や悪天候などで視界の悪いときは充電工具を使用しないでください。
- ②安全保護具や防音保護具を使用してください。
  - ・作業時は、常に保護メガネを使用してください。
  - ・必要に応じて、防じんマスク、すべり防止安全靴、ヘルメットなどを着用してください。
  - ・騒音の大きい作業では防音用保護具（耳栓など）をご使用ください。
- ③不意な始動を避けるため、スイッチに指をかけて運ばないでください。
- ④充電工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取外してください。
  - ・付けたままにしておくと、負傷する恐れがあります。
  - ・本製品に収納場所がある場合は、決められた位置にしっかりと固定してください。

- ⑤無理な姿勢で作業しないでください。
  - ・常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
- ⑥作業に適した服装で作業してください。
  - ・回転部や可動部に巻き込まれる恐れがある衣服や手袋、ネックレスなどの装身具は着用しないでください。
  - ・すべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
  - ・長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
  - ・髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
- ⑦集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
  - ・粉じんによる危険を低減するために、集じん装置は適切に使用してください。
- ⑧使用中は、振り回されないよう充電工具を確実に保持してください。
  - ・確実に保持していないとけがの原因になります。
- ⑨使用中は先端工具や回転部、切りクズなどの排出物に手や顔を近づけないでください。
  - ・けがの原因になります。

#### 4. 充電工具の使用と手入れ

- ①無理して使用せず、能力に合った作業でご使用ください。
  - ・安全に能率よく作業するために、能力に合った負荷で作業してください。
  - ・モータをロックさせるなどの無理な使用はしないでください。
- ②スイッチに異常がないか点検してください。
  - ・スイッチで始動および停止操作ができない場合は危険です。使用せず修理をお申し付けください。
- ③充電工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、充電池を充電工具から抜いてください。
  - ・充電工具の調整、保管、修理。
  - ・刃物、砥石、ビットなどの先端工具、付属品の交換。
  - ・その他危険が予想される作業。
- ④充電工具を使用しない場合、子供の手の届かない安全なところ、乾燥した鍵のかかるところに保管してください。
- ⑤充電工具の保守点検をしてください。
  - ・可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
  - ・保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
  - ・グリップは、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
  - ・注油や付属品、アタッチメントの交換は、取扱説明書に従ってください。
  - ・充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、ご使用をお控えください。
  - ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- ⑥誤って落としたり、ぶつけたときは、先端工具や付属品、充電工具に破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
  - ・破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
- ⑦先端工具は鋭利できれいな状態を保ってください。
  - ・先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。
- ⑧充電工具、付属品、アタッチメント、先端工具などは、作業条件や実施する作業に合せてご使用ください。
  - ・指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。
- ⑨極端な高温や低温の環境下では、十分な性能が得られません。

#### 5. 整備

- ①修理は、安全性を維持するために必ずお買い上げの販売店、または当社フリーダイヤルにお申し付けください。
- ②充電工具、充電器、充電池を分解、修理、改造しないでください。
  - ・発火や異常動作による事故の原因になります。

③異常や故障時には、直ちに使用を中止してください。

- ・充電工具や充電器、充電池が熱くなったり、異常に気づいたときは修理に出してください。
- ・そのまま使用すると発煙、発火、感電、けがに至る恐れがあります。

## 6. その他の安全事項

①当社純正品以外は使用しないでください。

- ・この取扱説明書および当社カタログに記載されている純正品以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

②充電池を差し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。

- ・スイッチがオンの位置にあるときに充電池を差し込むと事故につながります。

③充電池のロックが破損している場合は使用しないでください。

④正しく充電してください。

- ・充電器は定格表示してある電源で使用してください。昇圧器などのトランス類を使用したり、直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。

・周囲温度が 0°C未満、または 40°C以上では、充電池を充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。

・充電池は、換気のよい場所で充電してください。充電中、充電池や充電器は布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。

・使用しない場合は電源プラグを電源コンセントから抜いてください。  
破裂や火災の恐れがあります。

・電源コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することが無いような場所で充電してください。発煙、発火、感電の恐れがあります。

⑤ラッカーやペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。

・爆発や火災の恐れがあります。

⑥火災の恐れがあります。次のようなことはしないでください。

・段ボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。

・充電中に充電器、充電池の風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすいものを見込まないでください。

・綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。

⑦充電器の充電池装着部には充電用端子があります。金属片や水などの異物を近づけないでください。

・そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

⑧充電中、発熱などの異常に気が付いたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。  
・そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

⑨濡れた手で電源プラグに触れないでください。

・感電の恐れがあります。

⑩充電器は専用充電池の充電以外の用途には使用しないでください。

⑪充電器の端子間をショートさせないでください。

⑫電源が離れていて延長コードが必要な場合は、最高の能率で支障なくご使用していただくために十分な太さのコードができるだけ短くした状態でご使用ください。

⑬温度変化の激しいところで使用すると、結露による誤動作や故障の原因になります。

⑭高温などの過酷な条件下では充電池から液漏れすることがあります。

漏れ出た液体に不用意に触れないでください。

・万が一、充電池の液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い医師の治療を受けてください。

・充電池の液は炎症やけどの原因になることがあります。

⑮使用時間が極端に短くなった充電池は使用しないでください。

- ⑯ご使用済みの充電池は一般家庭ゴミとして棄てないでください。
  - ・棄てられた充電池がゴミ回収車内などで破壊されて短絡し、発火、発煙の原因になる恐れがあります。
- ⑰材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。
- ⑱充電池は電力量が 100Wh を超える場合、危険物に分類されます。
  - ・輸送の際は、輸送会社にお問い合わせの上、指示に従ってください。
  - ・電力量は、充電池裏面のラベルに記載されています。

### ●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、  
ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

## グラインダーの安全上のご注意

先に「充電工具共通の安全上のご注意」を述べましたが、次に述べる  
「グラインダーの安全上のご注意」も守ってください。



### 1. 作業前にに関する安全事項

- ①本製品は研削・切断・研磨用として作られています。
  - ・用途以外の使用により、感電、火災、けがの原因になります。
- ②本製品を無負荷で動かし、異常な振動や揺れがないか確認してください。
  - 先端工具の取付け不備により先端工具のバランスが大きく崩れる可能性があります。
  - ・けがの原因になります。
- ③先端工具にひび、割れ、欠け、偏摩耗など異常がないことを確認してください。
  - ・けがの原因になります。
- ④被削材が適切に保持されているか確認してください。
  - ・けがの原因になります。
- ⑤本製品の風窓は定期的に掃除をしてください。
  - ・粉じんなどが堆積すると故障の原因になります。
- ⑥防じんカバーを付けてご使用ください。
  - ・異物侵入により故障の原因になります。

### 2. 作業に関する安全事項

- ①本製品でつや出しなどの作業をしないでください。
  - ・けがの原因になります。
- ②当社指定の付属品や先端工具を取付けてご使用ください。
  - ・当社指定以外の付属品や先端工具を使用すると事故やけがの原因になります。
- ③本製品の銘板に表示されている回転数よりも高い許容回転数が表示されている当社指定の先端工具を使用してください。
  - ・許容回転数が銘板表示より低い先端工具を使用すると、先端工具が破壊し、事故やけがの原因になります。
- ④先端工具の取付け方法、使用方法については、本製品および先端工具付属の取扱説明書の指示に従ってください。
  - ・けがの原因になります。

- ⑤先端工具の外径および厚さは、この取扱い説明書に記載されている、能力内の正規の先端工具を取付けてご使用ください。
- ・能力外の先端工具を使用すると事故やけがの原因になります。
- ⑥スピンドルに合った先端工具を使用してください。
- ・スピンドルに合わない先端工具を使用すると事故やけがの原因になります。
- ⑦スピンドルネジ部の固定が確実にできる先端工具を使用してください。
- ・けがの原因になります。
- ⑧破損した先端工具は使用しないでください。
- ・けがの原因になります。
- ⑨誤って落としたり、ぶつけたときは、先端工具や本製品などに破損や亀裂、変形がないことを点検してください。点検し、先端工具を取付けた後は、周囲から人を遠ざけ、先端工具から身体を離し、無負荷状態で本製品を1分間程度運転させ、先端工具が破壊しないことを確認してください。
- ・破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
- ⑩安全保護具を着用してください。
- ・作業時は、常に保護メガネを使用してください。また、作業に応じて防じんマスク、滑り防止安全靴、ヘルメット、耳栓（イヤマフ）、防護手袋などを着用してください。
  - ・防じんマスクは、作業で発生する粉じんを遮断できるものを使用してください。  
粉じんや騒音に長時間さらされると健康を害する可能性があります。
- ⑪作業者以外の人を作業領域から遠ざけてください。
- また作業者以外の人が作業領域に近づく場合は安全保護具を着用させてください。
- ・被削材や先端工具の破片が飛散し、事故やけがの原因になります。
- ⑫軍手などの布製の手袋は使用しないでください。
- ・手袋の繊維が本製品に入り込み、故障の原因になります。
- ⑬作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを十分確かめてください。
- ・埋設物に先端工具が触れて、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
- ⑭先端工具が完全に停止するまでは、本製品を床や台の上などに置かないでください。
- ・先端工具が引掛かったりして、事故の原因になります。
- ⑮運転をしている間は、先端工具を身体に近づけないでください。
- ・先端工具が衣服に引掛けたり、身体に触れたりすることで、けがや事故の原因になります。
- ⑯研削粉は火花となって飛散するので、引火しやすいもの、傷つきやすいものは安全な場所に遠ざけてください。また、研削火花を直接手足などに当たないようにしてください。
- ・火災ややけどの原因になります。
- ⑰水や研削液などは使用しないでください。また、それらが必要な先端工具は使用しないでください。
- ・本製品は乾式用のため、けがや感電の恐れがあります。
- ⑱使用中に先端工具が加工材に挟まったり、引掛けたりしたときには、キックバックという突然の反動を受けることがあります。事故やけがの原因になりますので、次の点に注意してください。
- ・使用中は、反動や衝撃などが生じることがありますので、本製品を手離さないようしっかりと保持してください。特に始動時は気を付けてください。
  - ・手を先端工具の近くに置かないでください。
  - ・キックバックが発生したときに備えて本製品作業方向の延長線上に身体を置かないでください。
  - ・コーナーや鋭いエッジなどを加工するときは特に注意してください。
  - ・指定された先端工具以外での切断作業はしないでください。
- ⑲砥石カバーを取付けて使用してください。
- ・砥石カバーは作業者の最大限の安全のために配置しています。砥石カバーを取付けずに使用すると、破損した先端工具の破片および先端工具との不測の接触によりけがの原因になります。
- ⑳本製品を万力などで保持するような使用はしないでください。
- ・けがの原因になります。
- ㉑使用中は、先端工具や切りクズなどに手や顔を近づけないでください。

- ②使用中、本製品の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ぐにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社フリーダイヤルに点検、修理をお申し付けください。  
・そのまま使用していると、事故やけがの原因になります。
- ③事業者の方には、先端工具の取替え・試運転は、法・規則で定める特別教育を受けた人に行わせてください。  
・関連法令 労働安全衛生規則 第36条、労働安全衛生法 第59条  
・安全衛生特別教育規程 第1条、第2条
- ④作業は先端工具の指定された面で行ってください。  
・指定以外の面で行うとけがの原因になります。
- ⑤本製品を運転した状態のまま、本製品から離れないでください。また、作業中はしっかり手で本製品を保持してください。  
・けがの原因になります。
- ⑥加工直後の被削材を触らないでください。  
・やけどやけがの原因になります。
- ⑦他用途の先端工具（丸のこ刃、チップソーなど）は使用しないでください。

### 3. 研削および切断作業に関する安全事項

- ①当社指定の先端工具、および砥石カバーを取付けてご使用ください。  
・当社指定以外の先端工具や砥石カバーを使用すると事故やけがの原因になります。
- ②砥石カバーは、作業者の方向に露出する先端工具を最小限にする位置に取付けてご使用ください。  
・先端工具との不測の接触や破損した砥石から作業者を保護します。
- ③研削砥石や切断砥石を使用する際、研削火花を吸い込んでください。
- ④研削砥石は正しい使用面で研削してください。
- ⑤切断砥石は正しい使用面（外周下面）で切断してください。  
侧面や上面では切断しないでください。切断砥石以外の砥石での切断はしないでください。  
・砥石が破損して事故やけがの恐れがあります。
- ⑥切断砥石を用いて切断作業をする場合は、切断砥石に対応する砥石カバーを装着し、フランジは正しく取付けて使用してください。
- ⑦切断砥石は、規程の砥石を使用してください。  
他の大型の電動工具で使用して消耗した砥石を使用しないでください。  
・回転速度の違いから破裂するなど事故の原因になります。
- ⑧切断作業中にジグザグ切断、曲面切断、ガイドを使わない斜め切断、こじったり側面を使用することは絶対にしないでください。  
・モータに無理がかかるだけなく、キックバックや砥石の破壊による事故やけがの原因になります。
- ⑨切断作業中は、身体が刃物の延長線上になる位置に立たないでください。  
・けがの原因になります。
- ⑩切断作業中に先端工具が拘束されたときは、本製品のスイッチを切り、先端工具が完全に停止してから切断部から離し、原因を除去してください。  
・拘束されたまま再開すると、けがの恐れがあります。
- ⑪切断作業を中断したときは、切断部に切り込んだまま再始動しないでください。  
本製品のスイッチを切り、先端工具が完全に停止してから切断部から離して再始動してください。  
先端工具が最高速度に到達してから注意しながら切断部へ切り込んでください。  
・切り込んだまま再開すると、けがの恐れがあります。
- ⑫加工材を切断するときは、支持台を使用し加工材を固定した状態で作業を行ってください。
- ⑬壁や内部が見えない部分に切り込みを入れるとときは、切り込み部背面のパイプや電気配線などを切断する恐れがあるので特に注意してください。  
・感電、火災、けがの原因になります。

# ⚠ 注意

- 先端工具や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
- 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確認してください。
- 試運転を励行してください。

①試運転時間

- 砥石交換のとき：3分間以上
- 作業開始のとき：1分間以上

②新しい砥石を取付けて初めてスイッチを入れるときは、砥石の回転面から身体を離してください。

## 主要機能

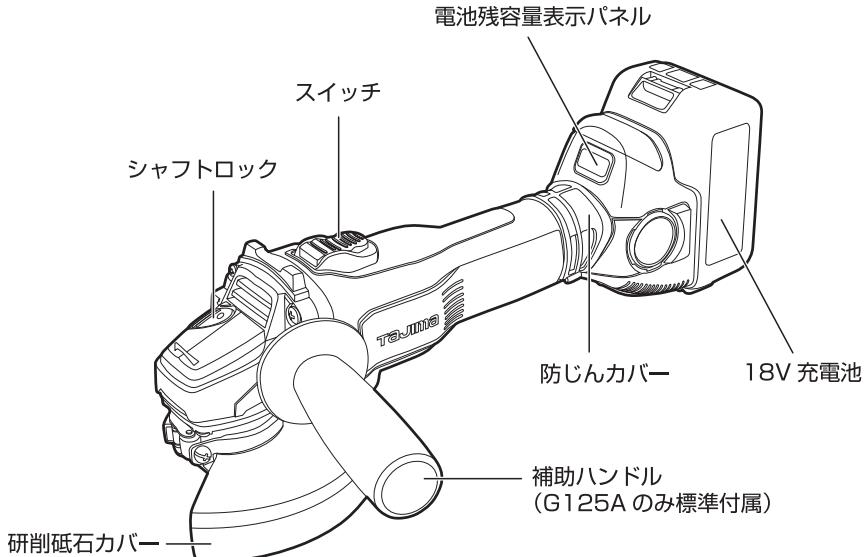
モデル	PT-G100A	PT-G125A
電動機	DC ブラシレスモータ	
充電池	リチウムイオン充電池	
電圧	DC18V	
回転数	6,600min <sup>-1</sup> (回転 / 分)	
砥石寸法 (外径 × 内径 × 厚さ)	100mm×15mm×6mm (取付け可能砥石厚さ 2 ~ 6mm※) ※研削砥石取付時	125mm×22mm×6mm (取付け可能砥石厚さ 2 ~ 6mm※) ※研削砥石取付時
本体寸法	全長 350×全高 139×幅 116mm	全長 350×全高 139×幅 146mm
重量 (充電池含む)	2.4kg	2.5kg

充電器	PT-QC18
入力電圧	単相交流 100V
入力周波数	50-60Hz
入力容量	180W
出力電圧 / 電流	電池充電端子：直流 18V/7.5A USB 充電端子：直流 5V/2A

※改良のため、主要機能および形状などは予告なく変更する場合がございますので、了承ください。

# 各部の名称および標準付属品

## 各部の名称



## 標準付属品と対応一覧

品名	品番	PT-G100A	PT-G100A SET	PT-G125A	PT-G125A SET
18V 充電池 (6Ah)	PT-LB1860	-	○	-	○
18V 急速充電器	PT-QC18	-	○ (約 80% 約 37 分) (フル充電 約 57 分)	-	○ (約 80% 約 37 分) (フル充電 約 57 分)
ロックナットレンチ	PT-LW100	○	○	×	×
	PT-LW125	×	×	○	○
補助ハンドル	PT-HHG	-	-	○	○
キャリーケース	PT-CAG	-	○	-	○
研削砥石カバー	PT-KC100	○	○	×	×
	PT-KC125	×	×	○	○

○ … 付属 - … 付属無し ×…使用できません

# 別売品のご紹介

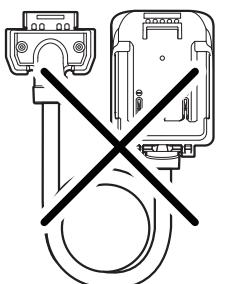
■別売品の詳細につきましてはカタログを参照していただかずか、お買い上げの販売店もしくは、当社営業所へお問い合わせください。

品名	PT-G100A	PT-G125A
切断砥石カバー	PT-SC100	PT-SC125
ロックナット	PT-LN100	PT-LN125
フランジ	PT-FN100	PT-FN125
補助ハンドル	PT-HHG	
防じんカバー	PT-DCG	
18V 充電池(4Ah)	PT-LB1840	
18V 充電器	PT-LC18	

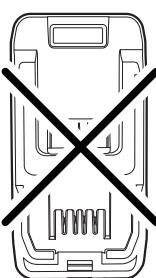
■砥石の情報は右記の QR コード  
にアクセスして確認ください。



△注意 本製品は 18V 接続コード(電基地セット)には取付けできません。



18V 接続コード



電基地

品名	品番
18V 接続コード	PT-SC18
電基地	PT-EB18
電基地セット	PT-EB18SETCP

# ご使用前の準備

## 砥石カバーの取付け・取外し方

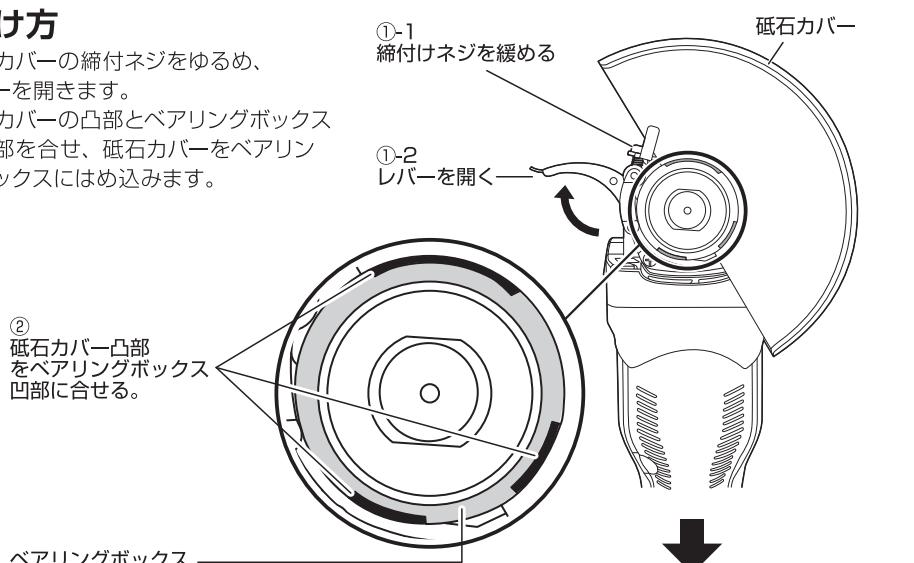


### 警告

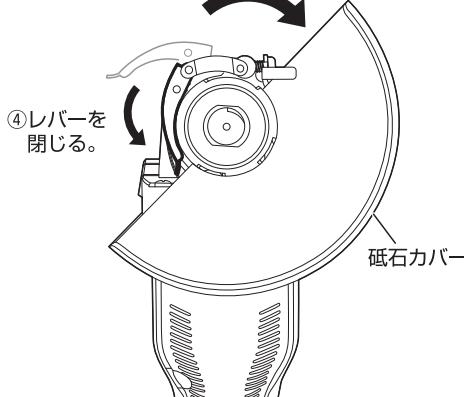
砥石カバーの取付け・取外しの際は、必ずスイッチを切り充電池を抜いてください。  
・充電池を差したまま行うと事故の原因になります。

#### 取付け方

- ① 砥石カバーの締付ネジをゆるめ、レバーを開きます。
- ② 砥石カバーの凸部とペアリングボックスの凹部を合せ、砥石カバーをペアリングボックスにはめ込みます。



- ③ 砥石カバーを矢印の方向に回してレバーを閉じ、締付ネジを締めて固定します。
- ④ 作業に応じて、「レバーを開く→砥石カバーを位置調整→レバーを閉じる」の手順で砥石カバーの位置を変更することができます。



#### 取外し方

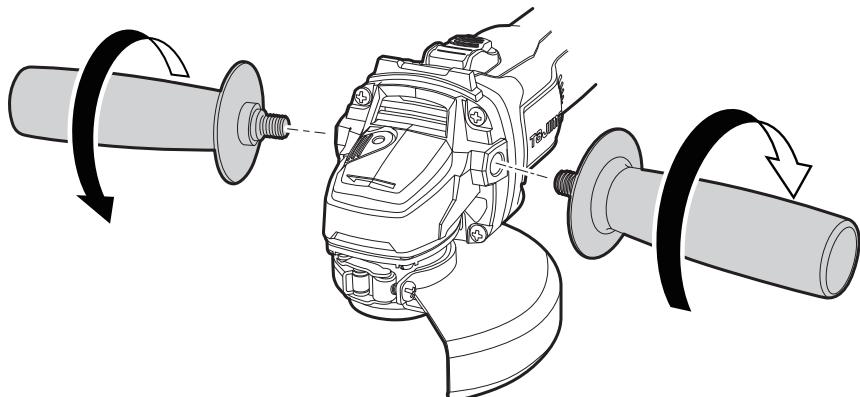
取外す場合は、取付け方の逆の手順で行ってください。

## 補助ハンドルの取付け方 (G125A のみ標準付属)

### ⚠ 警告

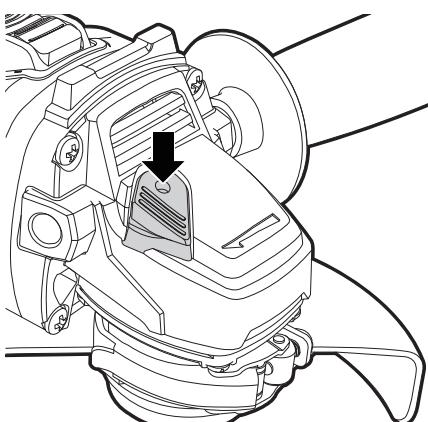
- 補助ハンドルの取付け・取外しの際は、必ずスイッチを切り充電池を抜いてください。
- 充電池を差したまま行うと事故の原因になります。

- 補助ハンドルは下図のように本製品の2カ所に取付けが可能です。  
作業にあつた位置にしっかりと取付けてご使用ください。



## シャフトロックの操作

- 先端工具の取付け・取外しの際に使用します。  
シャフトロックを押し込み、スピンドルの回り止めをしてください。



### △注意

- 回転させたままシャフトロックを押さえないでください。故障の原因になります。

# オフセット研削砥石の取付け・取外し方

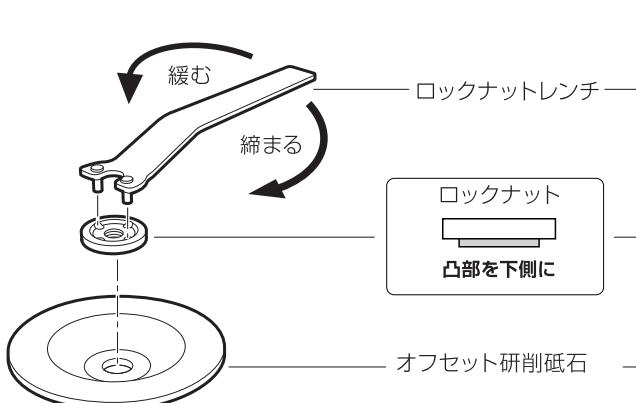
## ⚠ 警告

オフセット研削砥石の取付け・取外しの際は、必ずスイッチを切り充電池を抜いてください。  
・充電池を差したまま行うと事故の原因になります。

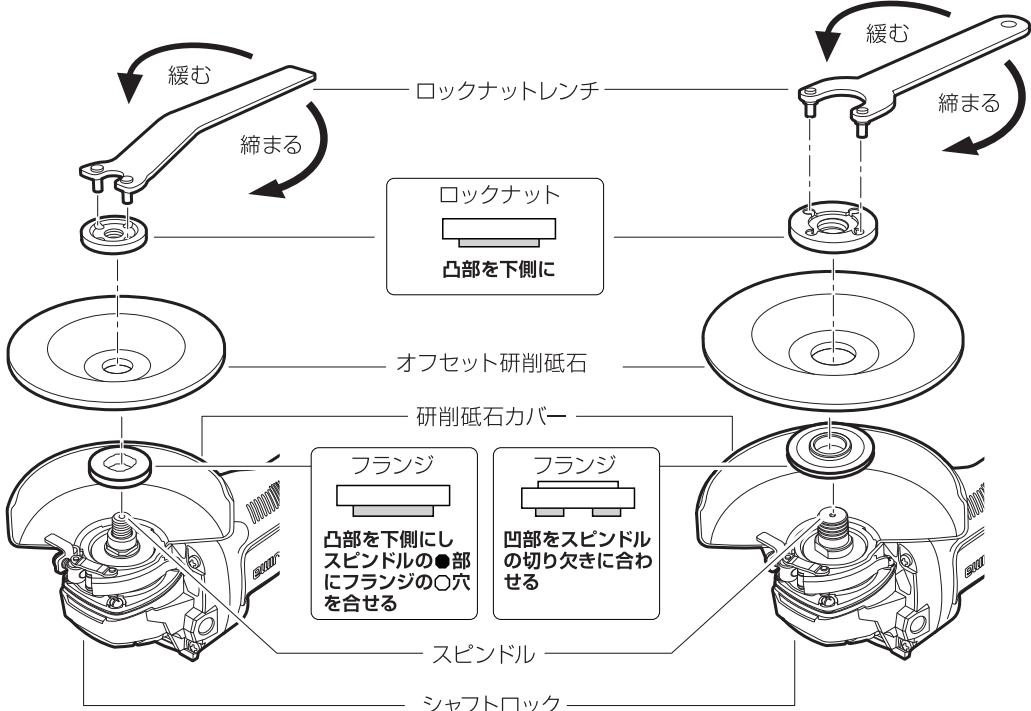
### 取付け方

1. スピンドルを上に向け、図のようにスピンドルにフランジを合わせてはめ込みます。
2. オフセット研削砥石の凹部を上にしてスピンドルにはめ込みます。
3. ロックナットの凸部を下側にしてスピンドルにねじ込みます。
4. シャフトロックを押さえながら、ロックナットをロックナットレンチでしっかりと締め付けます。

PT-G100A



PT-G125A



### 取外し方

- ・取外す場合は、取付け方の逆の手順で行ってください。

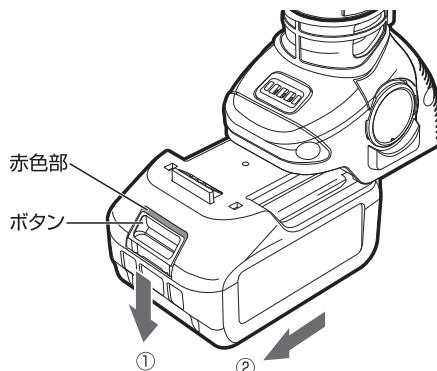
# 使い方

## 充電池の取付け・取外し方

### △危険

充電池は確実に本製品に差し込んでください。ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が完全に見えなくなるまでしっかり差し込んでください。  
・差し込みが不十分の場合、外れて事故の原因になります。

- ・充電池を本製品から取外すときは、  
①充電池正面のボタンを下げながら  
②スライドさせると取外せます。
- ・取付けるときは逆の要領で、本製品の溝に合せて、奥まで挿入してください。この際、ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が見えなくなるまで、奥へ確実に挿入してください。



### △注意

充電池を着脱する際には、スイッチが切れていることを確認してから作業してください。

## 充電池保護機能

### ・過負荷保護

充電池の寿命を長くする目的で本製品が過負荷状態となると、モータが自動停止する保護機能が付いております。モータが自動停止しますか、故障ではありません。

一旦スイッチを離し、充電池を取り外してから、再びご使用ください。

それでも正常に動作しない場合は、ご使用をお控えください。

過負荷保護機能が働くと、電池残容量表示パネルの左右が交互に3秒間点滅します。

### ・温度保護

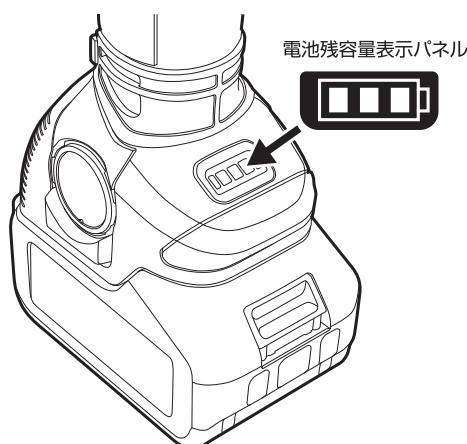
充電池が高温になるとモータが自動停止します。スイッチを操作してもモータは停止します。保護機能が働くと、残容量表示ランプが全て3秒間点滅します。このときは充電池を取り外し、充電池を冷ましてください。

それでも正常に動作しない場合は、ご使用をお控えください。

### ・過放電保護

充電池の容量が少なくなるとモータが自動停止します。スイッチを操作してもモータは停止します。保護機能が働くと、残容量表示ランプの1つが3秒間点滅します。このときは充電池を取り外し、充電池を充電してください。

それでも正常に動作しない場合は、ご使用をお控えください。



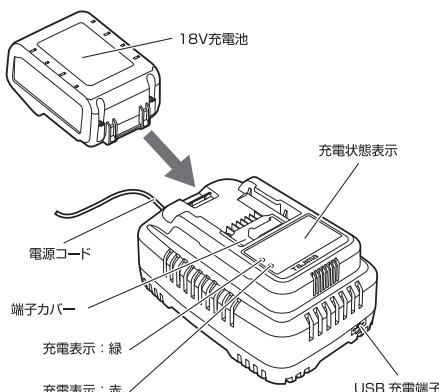
## 充電池について

- お買い上げ時は、十分に充電されていないため、充電池保護機能が働いている場合があります。ご使用前に充電器で正しく充電してからご使用ください。
- 使用しないときは電池端子カバーをかぶせてください。



## 充電池の充電方法

- 充電器に電源コードを差し込み、電源プラグを AC 100V の電源コンセントに差し込んでください。充電表示ランプは「緑」の点滅をゆっくり繰り返します。  
※必ず付属の電源コードを使用してください。  
※付属の電源コードは他の機器には使用しないでください
- 充電池を充電器の挿入溝にそって、一番奥まで入れてください。充電器の端子カバーは充電池挿入に伴い開閉します。
- 充電池を挿入しますと充電表示ランプが「赤」に点灯し、充電が約 80%になると「緑」の点滅が早く繰り返されます。充電が完了すると「緑」の点灯に変わります。充電時間は周囲温度（0°C～40°C）や充電池の状態（新品・長期保存充電池や寿命に近い充電池など）により変動します。
- 充電池を抜取り、電源コンセントから充電器の電源プラグを抜いてください。



表示ランプ	表示内容		
緑	-----	ゆっくり点滅	充電前
	.....	はやい点滅	80%充電
	----	点灯	充電完了
緑・赤	.....	はやい点滅	充電不可（電池異常）
赤	-----	ゆっくり点滅	充電待機（低温/高温）
	----	点灯	充電中

充電不可：寿命またはゴミづまりにより充電ができません。

充電待機：充電池が低温もしくは高温のときは充電ができません。

充電池が充電に適した温度になると自動的に充電を開始します。

## △注意

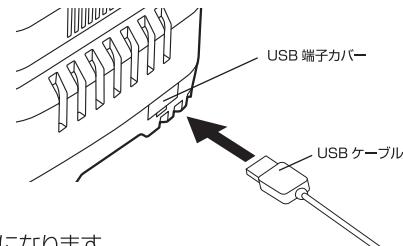
- 充電器（PT-QC18）はタジマ 18V 充電池専用です。ほかの目的には使用しないでください。
- 充電開始後、緑と赤の充電表示ランプが同時に点滅する場合は、充電池の寿命またはゴミづまりで充電できません。
- 充電時間が周囲温度（0°C～40°C）や充電池の状態に応じて変動します。
- 充電中は充電器、充電池の風窓はふさがないでください。
- 次のような状態のときは充電器または充電池に故障があると考えられますのでご使用をお控えください。
  - × 充電器の電源プラグを 100V の電源コンセントに差し込んでも「緑」の表示ランプが点滅しないとき。
  - × 充電池を挿入しても「赤」の表示ランプが点灯しないとき。

# USB 充電端子の使い方

本充電器は、USB 機器の充電器としても使用することができます。

次の注意事項をよくお読みの上、正しくお使いください。

- ・万一の場合に備えて、ご使用になる USB 機器の内部データを必ず事前にバックアップしてください。  
接続した USB 機器の内部データが（予測できない問題により）破損・消失する可能性があります。
- ・USB 機器の種類によっては、充電できない機種があります。
- ・2A を超える出力電流を必要とする USB 機器は、充電器に接続しないでください。
- ・USB 充電端子の最大出力電流は 2A です。
- ・USB 充電端子部に損傷や焼損が見られる場合には、絶対に使用しないでください。
- ・充電器との接続には、USB 機器付属または純正の USB ケーブルをご使用ください。
- ・ご使用前に接続する USB ケーブルに損傷がない事を確認してください。
- ・USB 機器を充電しないときは、USB 機器を充電器から取外してください。
- ・USB 機器のバッテリ寿命が短くなる等、思わぬ事故の原因になります。
- ・使用後は充電器側面の USB 端子カバーを戻してください。  
カバーが開いていると充電器内部に水滴やほこりが侵入し充電器の故障や発煙・発火につながります。
  1. 充電器側面のカバーを外して、USB ケーブルで USB 機器と接続してください。
  2. 充電器に電源コードを差し込み、電源プラグを電源コンセントに差し込んでください。
  3. 使用後は、USB 機器、USB ケーブルを取り外し、カバーを戻してください。
  4. 電源コンセントから電源プラグを抜いてください。



## 充電器の冷却について

- ・充電器の性能を十分に発揮させるため、充電器内蔵の冷却ファンにより送風の音がしますが故障ではありません。
- ・充電中にファンの送風音がしなければ充電器の故障が考えられますので、ご使用をお控えください。
- ・充電器の風窓をふさがないでください。
- ・頻繁に「緑」・「赤」の表示ランプが同時に早く点滅するときは、ご使用をお控えください。

## 充電器の保管について

- ・充電器の保管場所として次のような場所は避けてください。
  - × お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる所
  - × 温度や湿度の急変する所
  - × 湿気の多い所
  - × 直射日光のある所
  - × 撥発性物質の置いてある所

## 充電池を長持ちさせるには

- ・工具の力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
- ・満充電した充電池を再度充電しないでください。
- ・充電は周囲温度 0°C ~ 40°C の範囲で行ってください。
- ・使用後は、充電せずに保管してください。

## 充電池の寿命

- ・充電池の使用時間が著しく低下してきたときには、充電池の寿命がついたものとお考え頂き、新しい充電池と交換してください。
- ・寿命のついた充電池をそのまま使用していると、充電池だけではなく、充電器故障の原因にもなります。

## 充電池の回収について

使用済み充電池はリサイクルのため回収しております。  
お買い上げの販売店へご持参ください。



## スイッチの操作

### ⚠ 警告

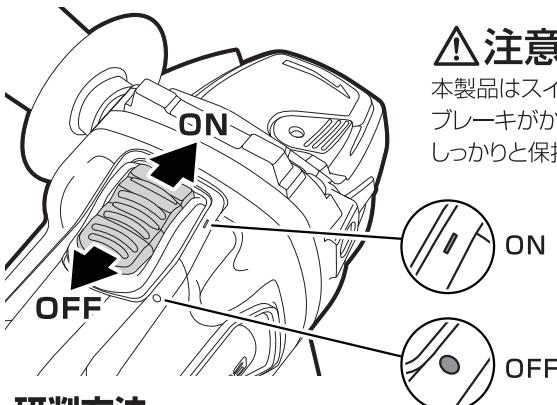
本製品に充電池を差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

- ・スイッチを入れたまま、充電池を差し込むと事故の原因になります。
- ・何らかの問題によりスイッチが切れない場合は、充電池を抜いて電源を切ってください。

・スイッチは「I」(ON) 側にスライドさせると入ります。

その状態からスイッチの前部を押すと、固定されて連続運転します。

停止するには、スイッチの後部を押して「O」(OFF) 側にスライドすると切れます。



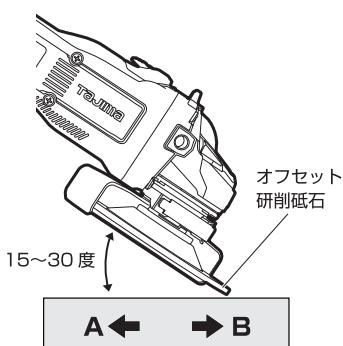
## 研削方法

### ⚠ 警告

使用後はスイッチを切って、オフセット研削砥石の回転が完全に止まってから本製品を置いてください。

- ・回転が止まらないうちに置くことは危険です。また、切粉やゴミの多い場所に置きますと、切粉やゴミを吸いこむことがありますのでご注意ください。

- ・本製品回転部分が加工材などに当たらぬ位置でスイッチを入れ、回転が完全に上昇したことを確認して作業を開始してください。
- ・オフセット研削砥石は加工材に強く押し付けないでください。
- ・オフセット研削砥石は 15 度～30 度傾けて、外周下面で研削するようご使用ください。
- ・新しいオフセット研削砥石は、後 (A 方向) に引いて使用してください。  
前 (B 方向) に押しますと加工材に食い込むことがあります。オフセット研削砥石の角がとれましたら、どちらの方向にも進めることができます。



### ⚠ 注意

予備の充電池を使用して連続作業をされる場合は、  
本製品を十分冷ましてからご使用ください。

# 切断砥石の取付け・取外し方

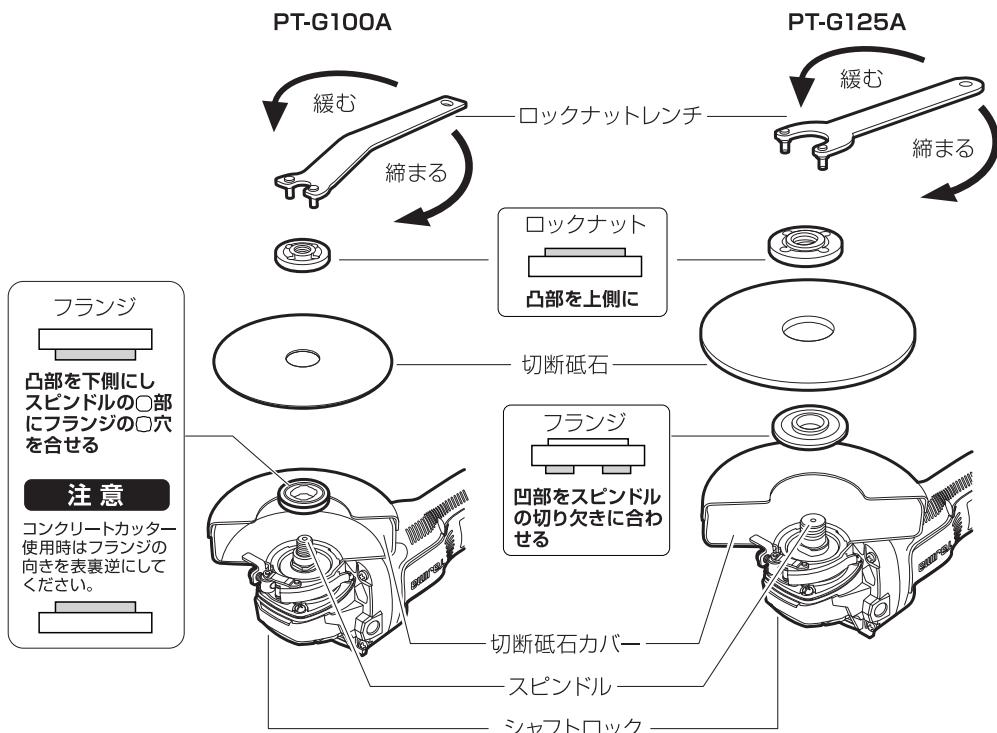
## ⚠ 警告

切断砥石を使用する場合は必ず専用の切断砥石カバー（別売）を取付けてご使用ください。

- ・切断砥石が破損したとき、事故の原因になります。
- ・切断砥石の取付け・取外しの際は、必ずスイッチを切り充電池を抜いてください。
- ・充電池を差したまま行うと事故の原因になります。

### 取付け方

1. スピンドルを上に向けて、図のようにスピンドルにフランジを合わせてはめ込みます。
2. 切断砥石をスピンドルにはめ込みます。
3. ロックナットの凸部を上にしてスピンドルにねじ込みます。
4. シャフトロックを押さえながら、ロックナットをロックナットレンチしっかりと締め付けます。



### 取外し方

- ・取外すときは、取付け方の逆の手順で行ってください。

# 切断方法

## ⚠ 警告

切断中に本製品をこじったり強く押し過ぎたりしないでください。

- モータに無理が掛かるばかりでなく本製品自体に強い反発力を生じ、けがの原因になります。
- 本製品回転部分が加工材などに当たらない位置でスイッチを入れ、回転が完全に上昇したこと を確認して作業を開始してください。

使用後はスイッチを切って、切断砥石の回転が完全に止まってから本製品を置いてください。

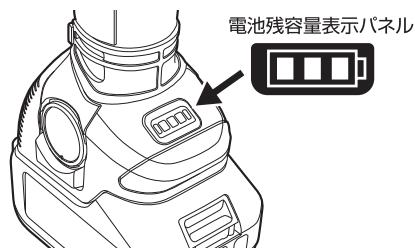
- 回転が止まらないうちに置くことは危険です。また、切粉やゴミの多い場所に置きますと、切粉やゴミを吸いこむことがありますのでご注意ください。

## ⚠ 注意

- 切断砥石が材料に触れない位置でスイッチを入れてください。本製品をしっかりと保持し、切断砥石の回転が上昇し安定したら、ゆっくり切り始め、切り終わるまでこの状態を保ってください。

## 電池残容量表示パネル

充電池残容量はスイッチを入れたときに  
電池残容量表示パネルでお知らせします。  
電池残容量表示パネルの点灯状態と充電池  
の状態は以下となっています。



※残容量は目安としてご利用ください。

点灯状態	充電池の状態
	十分あります
	約半分程度あります。
	少ないので早めに充電してください。
	すぐに充電してください。
	温度保護機能が働いている状態です。※1
	過負荷保護機能が働いている状態です。※2

## ⚠ 注意

- 電池残容量表示パネル内のすべてのランプが消えている場合は、充電池の消耗を抑えるために電源が OFF の状態です。スイッチを入れることで、充電池の残容量を確認することができます。
- スイッチを入れてから 3 秒後に電池残容量表示パネル内のすべてのランプが消えます。
- 充電池残容量が無くなった場合、1 つのランプが 3 秒間点滅します。その場合は充電池を充電してください。

※1 すべてのランプが 3 秒間点滅します。その場合は充電池が高温あるいは低温状態になっています。  
0°Cから 40°Cの温度でご使用ください。それでも正常に動作しない場合は、充電池の故障の可能性がございますので、ご使用をお控えください。

※2 左右のランプが交互に 3 秒間点滅します。その場合は充電池を外してからまた装着してください。  
それでも正常に動作しない場合は、本製品に故障の可能性がございますので、ご使用をお控えください。

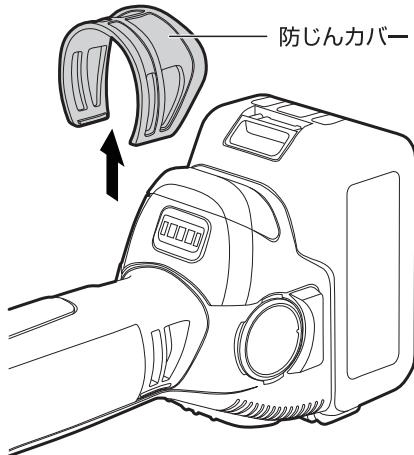
# 保守・点検について

## ⚠ 危険

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、本製品より充電池を抜いてください。  
充電池を本製品に差し込んだまま行うと、事故の原因になります。

### 防じんカバーの清掃

- 使用後は防じんカバーを外し、金網に付着したゴミやほこりを取り除いてください。



### 本製品のお手入れ

- 乾いた布できれいに拭いてください

⚠ 注意 ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

### ご修理の際は

- 修理は自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店またはフリーダイヤルにお問い合わせください。

■各種お問い合わせはこちらまで

**0120-125577**

受付時間：月曜日～金曜日 9:00～17:00  
(12:00～13:00/祝日・当社指定休日を除く)

**株式会社TJMデザイン**

本社/〒174-8503 東京都板橋区小豆沢3-4-3  
[www.tajimatool.co.jp](http://www.tajimatool.co.jp)

A01121



